

山梨県子ども読書支援センター 2025.9

子ども読書支援センターは、子どもの読書に関わる大人の方々をサポートする山梨県立図書館の機能です。当センターの事業や活動内容についてご紹介します。



ティーンズコーナー（中学生・高校生向け）展示

「新書にチャレンジ」を開催中です！（～11月19日）



ティーンズコーナーでは年4回、おすすめの本を紹介する展示を行っています。

8月から11月のテーマは「新書にチャレンジ」です。新書とは、特定のテーマについて、専門家が分かりやすい言葉で解説している本です。文系・理系を問わず、さまざまな分野の新書が出版されています。

今回の展示では、「岩波ジュニア新書」や「ちくまプリマー新書」など中高生向けに書かれた新書をはじめ、図やイラストが豊富で読みやすい「岩波ジュニアスタートブックス」や「ちくまQブックス」など、約100冊を紹介しています。

「新聞やニュース番組で見たテーマについてもっと知りたい」「論理的な思考力を養い、小論文対策に役立てたい」と思ったときなどに、ぜひ手に取ってみてください。

イチオシは、『地べたから考える』（ブレイディみかこ／著 筑摩書房 2024）です。イギリス在住の著者が、教育・福祉・労働のテーマごとに、日本との違いをわかりやすく語るエッセイ集です。「こどもにすすめたい本2025」に選ばれています。また、『ヤングケアラーってなんだろう』（澁谷智子／著 筑摩書房 2022）もオススメです。家族の介護や家事をしている中高生に向けて、同じ立場の人の体験談や、支援機関の情報が紹介されています。

※ 展示している本のブックリストは当館ホームページで公開しています。

山梨県立図書館>ティーンズページ>ティーンズコーナー>新書にチャレンジ

URL <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/teens/teenslist20250821-1119.pdf>

「新書にチャレンジ」
のページ



ブックリスト

「こどもにすすめたい本2025」でおすすめの新刊本をチェック！

「こどもにすすめたい本2025」は、2024年中に出版された本から山梨県内の図書館員が子どもたちにおすすめの本を110冊選んだブックリストです。山梨県立図書館と山梨県公共図書館協会が年1回発行しているリストの最新版です。子どもの発達段階に合わせて幼児、小学生（低学年・中学年・高学年）、中学生・高校生向けに分かれており、絵本や物語だけでなく、科学の本や、山梨県出身またはゆかりの人物が書いた本も含まれています。『だっこだっこらっこ』（幼児向け）、『ペンギンゆうゆう』（小学校低学年向け）など特におすすめの本は表紙画像と紹介文を掲載しています。ブックリストに掲載した本は、毎年こどもの読書週間に合わせて当館児童資料コーナーで展示しています。

ご家庭での本選び、幼稚園・保育所等での読み聞かせ、学校の授業等に、ぜひお役立てください。



※ 当館ホームページからブックリスト「こどもにすすめたい本」を見ることができます（2021～2025）。

山梨県立図書館>発行物>こどもにすすめたい本

URL https://www.lib.pref.yamanashi.jp/hakkou/h_kodomo/index.html

「こどもにすすめたい本」
のページ



第1回・第2回 子どもの読書オープンカレッジを開催しました。

「子どもの読書オープンカレッジ」は、山梨大学附属図書館子ども図書室との共催で、年5回開催している、子どもの読書について学ぶ初心者向けの講座です。



▲秋山麻実氏

第1回は5月22日(木)、「子どもの権利と『読むこと』」と題して、山梨大学大学院総合研究部教育学域教育学系(幼小発達教育講座)教授、秋山麻実氏にご講義いただきました。

前半は、子どもの権利条約の仕組みについて、後半は、子どもの権利条約の中で「読むこと」の権利はどこに位置付けられているのかについて、海外の事例を交え、ご説明いただきました。読むことの価値や権利について改めて考える機会となりました。

第2回は7月9日(水)、声と表現のレッスン「声を楽しむ、声で伝える」と題して、スタジオ・声と表現主宰の宮崎さなゑ氏に実演を交えて講義いただきました。参加者は講師との言葉のキャッチボールを通して、言葉をイメージし、届け、伝えることについて学びを深めました。

受講者からは「『声』というものに対する考え方、捉え方が変わりました。声量、高さ、心の持ち方を意識しようと思いました。」などの声が寄せられました。



▲宮崎さなゑ氏

イベントが盛り上がる!「子ども読書支援用品」のご紹介 (ボランティア団体・幼稚園・学校等対象)

山梨県立図書館では、子どもの読書活動を支援する資料としてエプロンシアターやパネルシアター、手袋人形を所蔵しています。

エプロンシアター等の子ども読書支援用品のご利用には団体登録が必要です。それぞれ1点まで、30日間借りられます。貸出・返却は児童カウンターで受け付けています。

また、紙芝居の舞台や拍子木、パネルシアターのステージなどの機材も資料とセットで借りられます。

七夕やクリスマスなどの行事の際に、また読書週間のイベント等にぜひご利用ください。

詳しくは…

山梨県子ども読書支援センター>所蔵資料リスト

URL https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_list.html

子ども読書支援用品 貸出のご案内

URL https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_list/syosai.pdf



エプロンシアター 【全23種類】

エプロンを舞台に見立て、お話をする人形劇です。
「うきごとかめ」「うらしまたろう」
「おおきなかぶ」「おむすびころりん」
「3びきのやぎVSTロール」など



パネルシアター 【全22種類】

布を貼ったパネルに、人形や背景の絵などを貼ったり外したりして物語を演じる人形劇です。
「赤ずきんちゃん」「かきじろう」
「さるかに合戦」「十二支のおはなし」
「だれでしょう」など



手袋人形 【全12種類】

「キツネの親子」「クリスマスウサギ」
「にわとりヒヨコ」「ねずみっこ」
「花と草」など



「所蔵資料リスト」
のページ



「子ども読書支援用品
貸出のご案内」のページ